



講習会「鉄骨溶接部の設計・施工の最前線を知る」

(東京、大阪にて開催)

主催：一般社団法人日本鋼構造協会

共催：一般社団法人日本鉄鋼連盟 一般社団法人鉄骨建設業協会

後援：一般社団法人日本建築構造技術者協会 一般社団法人全国鐵構工業協会

一般社団法人日本溶接協会 一般社団法人日本建設業連合会 AW検定協議会 (予定)

鉄骨接合部には溶接が多く用いられており、その健全性を確保することは建築物の安全性を担保する上で極めて重要です。この度、日本鋼構造協会では研究者、設計者、監理者、施工者、ファブリケータ、材料メーカーと建築鉄骨に関わる幅広いメンバーが参加した委員会成果として、「建築鉄骨溶接部の機械的性質の標準試験マニュアル」、「内ダイアフラムエレクトロスラグ溶接部の脆性的破断防止ガイドブック」がまとめられました。また、日本鉄鋼連盟より「建築構造用高性能590N/mm²鋼材 (SA440) 設計・溶接施工指針 第3版」が本年3月に刊行されました。これら鉄骨溶接部に関する設計・施工の最新情報をまとめて解説します。本講習会が、設計や製作・施工に係わる関係者の共通認識を深め、鉄骨造建築物の健全な発展のために活用されるものと期待します。

設計・製作・施工に携わる皆様には是非ともご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

■開催要領

開催日	会場	定員	申込期限
平成28年9月2日(金)	TFTビル(東京ファッションタウンビル) 東館9階 研修室 904・905 (詳細は以下のサイトをご覧ください。 http://www.bigsight.jp/facilities/tft/)	120名	8/26(金)
平成28年9月8日(木)	新梅田研修センター 705号室 (詳細は以下のサイトをご覧ください。 http://shin-umeda.temmacenter.com/)	80名	9/2(金)

■受講料 (テキスト代、消費税込み)

主催・共催・後援団体会員, または学生	一般
3,000円	5,000円

■プログラム

(敬称略、時間割・講師等は都合により変更する場合がございますので、予めご了承下さい。)

時間	題目	講演内容、使用テキスト
13:30~13:35	開会挨拶 一般社団法人日本鉄鋼連盟 建築委員会	
13:35~14:35	基調講演 講師：西山 功 国立研究開発法人建築研究所 理事	「建築鉄骨溶接部の機械的性質の標準試験マニュアル」作成委員会の委員長としてご指導いただいた西山理事に、熊本地震の被害事例にも触れ、鋼構造を取り巻く最新の技術動向を解説していただく。
14:35~15:05	講習1 建築鉄骨溶接部の機械的性質の標準試験について 講師：石井 匠 JFEスチール(株)	日本鋼構造協会JSS IV 13-2016 「建築鉄骨溶接部の機械的性質の標準試験マニュアル ~引張試験・シャルピー衝撃試験~」
休憩 (15分)		
15:20~16:10	講習2 内ダイアフラムエレクトロスラグ溶接部の脆性的破断防止について 講師：鈴木 孝彦 新日鐵住金(株)	日本鋼構造協会テクニカルレポート110号 「内ダイアフラムエレクトロスラグ溶接部の脆性的破断防止ガイドブック」
16:10~16:50	講習3 「建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材 (SA440) 設計・溶接施工指針 第3版」の改定内容、他 講師：松下 眞治 (一社)鉄骨建設業協会	日本鉄鋼連盟発行、建築研究所監修、「建築構造用高性能590N/mm ² 鋼材 (SA440) 設計・溶接施工指針 第3版」
16:50~16:55	閉会	アンケート回収

※アンケートについては、講習会当日、事前に配布し、質疑事項を記入していただきます。後日、講師からの回答を日本鋼構造協会ホームページに掲載する予定です。

■ 詳細

講習1	<p>「建築鉄骨溶接部の機械的性質の標準試験マニュアル～引張試験・シャルピー衝撃試験～」</p> <p>1995年の阪神淡路大震災では、建築鉄骨の溶接部周辺を起点とした部材の脆性的破断が多く観察され、これを機に脆性的な早期の破断を防止するための研究も数多くなされ、溶接部の強度や靱性の確保が重要であることが再認識されるようになった。溶接部の検査方法については、強度や靱性の機械的性質に関する標準的な試験方法とその判定基準を示したものはなく、研究者や設計者らが任意の判断により方法を定め実施しているのが実情である。そこで、日本鋼構造協会では溶接部の機械的性質に関する標準的な試験方法とその判定基準を定めることを目的に「建築鉄骨溶接部の性能標準作成小委員会」を設けた。各関係団体に委員参加をお願いし、設計者、監理者、施工者、鉄骨生産者、材料メーカーと建築鉄骨に関わる幅広い委員の検討を経てまとめたものである。</p>
講習2	<p>「内ダイアフラムエレクトロスラグ溶接部の脆性的破断防止ガイドブック」</p> <p>箱形断面柱は、その断面性能の高さから、新耐震設計法（1981）以降、急速に普及し、現在ではラーメン構造の柱としてその大半を占める。厚板を溶接で組み立てる溶接組立箱形断面柱は、サブマージーク溶接やエレクトロスラグ溶接等の自動溶接機の普及と溶接技術の進歩により、極厚のものでも経済的に製作することが可能となり、今では超高層建築物を支える柱材としてなくてはならない存在となっている。内ダイアフラムのエレクトロスラグ溶接部を起点とする破壊の発生メカニズムを明らかにし、破断を防止するための設計・施工・材料に関する技術的知見をとりまとめたものである。</p>
講習3	<p>「建築構造用高性能590N/mm²鋼材（SA440）設計・溶接施工指針 第3版」</p> <p>SA440設計・溶接施工指針は、旧鋼材倶楽部から1996年に初版が発行され、その後2004年に、2000年の建築基準法改正や溶接材料のJIS改正への対応に伴い改定が行われている。今回の改定は、2000年以降の法令の制定・改正やJIS規格改正を反映するとともに溶接組み立て箱形断面柱の角継手への大入熱溶接の適用をはじめとする最新の技術知見を踏まえたものである。</p>

■ 申込要領

◇受講票の取扱い

1. 本協会で払込を確認した後、申込ご担当者のEメールアドレスに受講票をお送りいたします。
2. 講習会会場受付にて、「受講票」をご提示下さい。
3. 参加申込み者が都合により参加できない場合、代理の方の参加はかまいません。

◇注意事項

1. お申込み後の参加取り消し及び欠席者には受講料の払い戻しは行いません。
2. 定員になり次第、募集は締め切らせて頂きます。申し込み期限間際にお申し込みされる際は、お電話にてご確認ください。

■ 振込先（以下のいずれかにお振込みください）

<郵便振替>

口座番号 東京00140-6-99826
口座名 一般社団法人日本鋼構造協会
(イッパソジャダソホジソ ニホソコウゾウキョウカイ)

<銀行振込>

三菱東京UFJ銀行 四谷支店 普通預金 口座番号 1096141
みずほ銀行 東京中央支店 普通預金 口座番号 250097
三井住友銀行 東京中央支店 普通預金 口座番号 1000997

口座名 一般社団法人日本鋼構造協会
(イッパソジャダソホジソ ニホソコウゾウキョウカイ)

■ 問合わせ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-2-1 四谷三菱ビル9F (一社)日本鋼構造協会 山本・割澤

E-mail : info-jssc@jssc.or.jp

TEL : 03 - 5919 - 1535 / FAX : 03 - 5919 - 1536